



特集

地域周産期母子医療センター

〈特集 地域周産期母子医療センター〉
〈2015.9月～2016.1月の活動報告〉

〈地域連携だより〉
〈看護師レポート〉

「特集」『地域周産期母子医療センター』

当院は平成17年4月1日に滋賀県より地域周産期母子医療センターの指定を受け、湖北および湖東地方を中心とした地域の周産期医療の中核施設になりました。今回は、周産期医療について、長浜赤十字病院の産婦人科、小児科の先生方に聞きました。

周産期医療とは

「周産期」とは、妊娠22週から生後7日未満までの期間を言います。母体に関しては、糖尿病や腎臓病、心臓病などの合併症妊娠や、妊娠高血圧症候群、切迫早産、多胎妊娠などが診療の対象になります。また胎児、新生児に関しては早産・低出生体重児、先天奇形、新生児仮死などが診療の対象になります。

この時期には母体、胎児や新生児の生命に関わ

る事態が発生する可能性があります。周産期を含めた前後の期間における医療は、突発的な緊急事態に備えて、産科医、小児科医、その他の医療スタッフによる総合的な体制が必要であることから、特に「周産期医療」と表現されています。

当院の取り組み

当院では、小児科と産婦人科は同じフロアにありスタッフ同志の風通しは良く、また定期的に周産期カンファレンスを行うことにより、スタッフ全員が母体、胎児、新生児の状態を把握し治療方針について議論しています。

平成26年度その他施設からの救急母体搬送は92例でした。湖北、湖東地域だけでなく、滋賀県中からの母体搬送を受け入れています。新生児に関して

は、週数、体重は無制限でNICU（新生児集中治療室）へ受け入れています。平成26年度のNICU入院患者数は290例でしたが、そのうち1,500g未満の極低出生体重児は27例、その中でも1,000g未満の超低出生体重児は7例でした。微力ながら滋賀県の周産期医療の一端を担っています。

加えて、当院では年に4回の新生児蘇生法講習会を開催しており、近畿、東海地方だけでなく全国から受講生が集まって来られます。



病棟にてカンファレンス



小児科医師による診察



NICUの保育器

産科部長 宗重 彰



日本産科婦人科学会専門医
日本周産期・新生児学会
母体胎児暫定指導医

婦人科部長 中島 正敏



日本産科婦人科学会専門医
日本婦人科学会暫定指導医
母体保護法指導医

第一小児科部長 成宮 正朗



日本小児科学会専門医
日本アレルギー学会専門医
日本周産期・新生児医学会
暫定指導医

第一小児科部副部長 山本 正仁



日本小児科学会専門医
臨床遺伝専門医
日本周産期・新生児医学会
周産期専門医（新生児）

活動報告

9月 集中治療室拡張工事完了！

■集中治療室運用開始／9月1日(火)

3東病棟の集中治療室（ICU）並びにナースステーションの工事が無事終了し、平成27年9月1日から運用を開始しました。集中治療室（ICU）を合計7床に拡張しました。加えて、患者さんの状態に迅速に対応できるよう、新たにナースステーションを配置しました。これからも長浜赤十字病院は救命救急センターとしての機能をより充実し、湖北医療圏の急性期疾患に取り組んでいきます。



10月 乳がん検診の早期受診と治療を推進いたします

■ピンクリボン長浜に参加／10月18日(日)

ピンクリボン運動は、乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診と治療を推進し、一人でも多くの命をなくさないように啓発することを目的として始められました。4回目の参加となる今回も、10名のスタッフが、乳がんに関する啓発資料を訪れた方々に配布しました。この啓発イベントをきっかけに、今後も多くの方ががん検診を受けてくだされば幸いです。



11月 県外での訓練にも参加しています

■第3ブロック合同訓練に参加／11月8日(日)

福井赤十字病院にて実施された日本赤十字社第3ブロック支部合同災害救護訓練に参加しました。福井市で震度7の地震を想定し、現場救護所、避難所巡回診療を行いました。医療資源の準備、組織の立ち上げ・運営、トリアージ、緊急手当、搬送方法等多くの手技・手法を習得し、有事の際にも対応出来るよう心構えを持ち、日々業務に取り組みたいと思います。



11月 3日間の職場体験

■中学生職場体験を実施／11月9日(月)～11日(水)

長浜北中学校2年生の生徒5名が職場体験学習の一環として当院を職場体験していただきました。小児科に入院されている子どもとのふれあいや沐浴体験、様々な検査機器の見学・体験、調剤体験、災害時でのエアートントの組立など普段できないことを体験してもらいました。今回の職場体験を通して、生徒たちが将来医療に携わるような仕事に就いてくれることを切に願います。



12月 ご協力ありがとうございました

■NHK海外たすけあいチャリティバザーを開催／12月9日(水)

病院本館の講堂にて、年末恒例のチャリティバザーを開催いたしました。職員互助会や職員OB・病院ボランティアのみなさまから「漬け物」「生活雑貨」「陶器」などの多くの品物をご提供いただきました。お陰様をもちまして76,305円の貴重な収益金となりました。この場をお借りしまして、厚くお礼申し上げます。これらの収益金は「NHK海外たすけあい」「各地の災害支援義援金」に分配させていただきます。



12月 かわいい聖歌隊

■キャンドルサービスを実施／12月24日(木)

恒例のキャンドルサービスが、クリスマスイブに催されました。今年は66人の職員やお子様たちが参加下さいました。3班に分かれて各病棟を回りました。病棟の廊下の明かりが消され、医師や看護師、サンタクロースに扮した子ども聖歌隊（もちろん大人もいました）が、灯のついたろうそくを手に登場すると、廊下に出てこられた患者様から「かわいい」と歓声があがり、一緒にくちずさむ方もおられて和やかな時間が流れました。



平成28年 世界赤十字デー (5/8)

～赤十字レッドライトアップキャンペーン～

赤十字の創始者アンリー・デュナンの生誕日である5/8（世界赤十字デー）を記念し、デュナンが強く訴えた「人道」の大切さを、多くの人々と一緒に考えてもらおうと、下記の歴史的建造物でレッドライトアップを実施します。

No	建 造 物	場 所	期 間	時間(予定)
1	彦根城(国宝)	彦 根 市	5/1～5/8	日没～21時
2	石山寺多宝塔(国宝)	大 津 市	5/8	日没～21時
3	旧長浜駅舎 (滋賀県指定有形文化財)	長 浜 市	5/1～5/8	日没～21時
4	今津ヴォーリス資料館 (国の登録有形文化財)	高 島 市	5/1～5/8	日没～21時
5	白雲館(国の登録有形文化財)	近江八幡市	5/1～5/8	日没～21時
6	日本基督教団水口教会 (国の登録有形文化財)	甲 賀 市	5/1～5/8	日没～21時



※彦根城のライトアップと同時に、夢京橋キャッスルロード・彦根市役所前道路に赤十字フラッグを掲揚します。
※本キャンペーンを広く県民のみなさまに周知することを目的として、フォトコンテストを開催します。
(詳細が決まり次第、支部ホームページ等でお知らせします。)

地域医療連携課だより

長浜赤十字病院・連携医療機関のご紹介

✓ 長浜赤十字病院は、地域との医療連携に努めています!!

当院は、地域で急性期医療を中心に担う病院としてその機能を果たすべく努力しています。専門性の高い検査や診察、また入院が必要な治療などを分担し、初期診療や慢性の継続診療などは、お近くの「かかりつけ医」の先生に診ていただき、皆様が地域のなかで継続性のある適切な医療が受けられるように医療の連携を推進しています。

当院は、信頼される医療を提供するため地域の数多くの医療機関との連携を更に進めていきたいと考えています。

✓ 地域の皆様へ

当院受診(初診)の際には、紹介状をお持ちになって受診して頂きますようお願いいたします。また、病状が安定してきた患者さまには、紹介元診療所やご自宅近くの医院・クリニック(かかりつけ医)等を紹介させていただいています。



小林クリニック

小林先生からのメッセージ

国友町で開業して20年になりますが、循環器内科を専門としつつ、地域に根ざしたクリニックを目指して診療してきました。最近はお高齢の患者様が益々多くなり、在宅医療も含めお一人おひとりに寄り添った診療ができるように心掛けています。



《医 師》 小林 清亮
小林 圭子
《診 療 科》 内科、循環器科、小児科
《住 所》 長浜市国友町331
《電 話》 0749-65-6060
《往診診療》 有 《訪問診療》 有

	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	×
夜間	16:00～19:00	○	○	○	×	○	×	×

米原市地域包括医療 福祉センター（近江診療所）

中村先生からのメッセージ

当診療所は、午前中の診察は、小児から高齢者まで年齢を問わず、科を区切らず総合診療を心がけております。午後の往診も、毎月のべ160件前後の往診をし、自宅での生活を支え、必要時には自宅での看取りまでを支えています。

地域で必要とされることを何でもお役に立てるように心がけて、地域の一員としての役割を少しでも担えるように努力しております。



《医 師》 中村 泰之
宮地 由佳(非常勤)
《診 療 科》 内科、小児科、外科、消化器内科
リハビリテーション科
《住 所》 米原市新庄77-1
《電 話》 0749-54-2127
《往診診療》 有 《訪問診療》 有

	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	×
午後	—	往 診	往 診	往 診	往 診	往 診	×	×

※土曜日午前は第1・3のみ

おくだ医院

奥田先生からのメッセージ

病院時代は私は血液内科医、家内は消化器医をしておりました。内科だけの小さな医院なので、スタッフともしっかりお話をお聞きすることと手を抜かない診療を心がけること位しか出来ませんが、少しでも住民の皆様の健康を守るお手伝いできればと思っています。



《医 師》 奥田 哲也
奥田 葉子
《診 療 科》 内科
《住 所》 長浜市平方町1185-9
《電 話》 0749-65-5775
《U R L》
<http://www.biwa.ne.jp/~okkun>

	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	×
午後	16:00～18:30	○	○	○	×	○	×	×

にのみや歯科医院

二宮先生からのメッセージ

当院は、昭和21年に祖父が開院し、現在は三代目(二宮 昭)が診療を行っております。大学病院では歯周病を専門に診療しておりました。これからも小児からお年寄りまで、地域医療のお役に立てるよう努めてまいります。



《医 師》 二宮 昭
《診 療 科》 歯科、小児歯科、矯正歯科
《住 所》 米原市春照1911-1
《電 話》 0749-58-0245
《往診診療》 無 《訪問診療》 有
《QRコード》



	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	9:00～12:30	○	○	○	×	○	○	×
午後	14:30～18:30	○	○	○	×	○	○	×

※土曜日午後は14:30～17:00

看護師レポート

～当院の緩和ケアチームの
紹介をします～

がん診療支援室 看護師長 垣見 留美子

緩和ケアとは

緩和ケアとは、終末期のことでは？と思われる方が多いですが、そうではありません。がんと診断されたそのときから緩和ケアは大切になってきます。なぜなら、病名告知を受けた早期より体のことだけでなく、心のつらさや生活のことなどがからみあって不安が強くなったりします。

緩和ケアは、体と心のつらさを和らげ、生活やその人らしさを大切にするケアのことです。

私たち緩和ケアチームは、医師、認定看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、作業療法士、社会福祉士の多職種によるチームメンバーでサポートを行う事により、あらゆる症状緩和やQOL（生活の質）の維持向上を図る事を目的に活動しています。



入院中の方へのサポート

入院中の患者さんでは病棟スタッフから依頼を受け、定期的にチームで話し合いをしています。病棟スタッフと一緒に、症状緩和や精神的ケア、家族ケアなど患者さんご家族の希望に寄り添えるケアを検討しています。

通院の方へのサポート

毎週月曜日14時～16時に緩和ケア外来を開設しています。

痛みなどの症状緩和だけでなく、精神的なつらさや生活の悩みなどのご相談にも応じています。

問い合わせは、がん相談窓口（0749-68-3389）平日9時～16時となります。気になることがある場合には、まずご相談ください。

今回の表紙

NICU（新生児集中治療室）

今回の表紙は、NICUにて新生児のケアにあたる看護師の様子です。

当院では、地域周産期母子医療センターとして、正常に経過している妊婦のみならず、リスクある妊産婦やその新生児に対し24時間体制で産婦人科医および小児科医、助産師、看護師ほか多くの医療スタッフが対応し、最新の機器を備え高度医療を提供しています。



理念

「人道・博愛」の赤十字精神にのっとり、やさしさのある全人的医療を提供します

基本方針

1. 患者さまの人権を尊重し、安全で高度な医療を提供します
2. 地域の保健・医療機関との連携を強化します
3. 救急医療を充実します
4. 災害救護、国際救援に積極的に参加します
5. 最善の医療を提供するため常に研修・研鑽に努めます

患者さまの権利宣言

1. 人権が尊重され、良質で適切な医療を受ける権利
2. 医療上の情報・説明を受け、同意したのち医療を受ける権利
3. 治療方法などを自らの意志で選択する権利
4. プライバシーが保護される権利
5. 他の医師等の意見（セカンドオピニオン）を求める権利



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

長浜赤十字病院